

やまと

第56号

(平成30年11月発行)

社会福祉法人 鳥取県厚生事業団

□障がい者支援施設 皆生やまと園

〒683-0002 鳥取県米子市皆生新田2丁目3-1

TEL 0859-36-8155 FAX 0859-36-8156

□生活介護事業所 えがお

□共同生活援助事業 ふるさとホーム

〒683-0322 鳥取県西伯郡南部町阿賀413-7

TEL 0859-21-2330 FAX 0859-21-2331

HP <http://www.tottori-kousei.jp/yamato.html>

E-mail:yamato_info@tottori-kousei.jp

皆生やまと園ユニット紹介

皆生やまと園では、ユニット体制での生活支援を行っており、2階女性利用者のかえで、もみじユニット、3階男性利用者のさつき、さざんかユニットで構成しています。なじみの関係づくりの中から利用者との信頼関係を構築しており、食事はご飯を各ユニットで炊飯するなど、家庭的な雰囲気の中で食事を提供しています。

各ユニットでは、個別支援計画に基づき、食事、排泄、入浴、洗面、着脱衣等の基本的な日常生活動作の自立支援を目標に、個人の能力、障がい特性に沿った適切な支援と介助を行うとともに、ワークや生活活動、社会参加の機会を提供し、生活の向上を図っています。

また、社会生活上必要となる習慣（身だしなみ、健康管理、金銭管理、交通機関の活用など）を身につける事を目的として、社会生活プログラムに沿った自立生活力を高める支援手法を必要に応じて組み入れることにより地域移行を推進しています。

かえでユニット

個性豊かなご利用者の方とベテラン&若手職員で日々楽しく過ごしています。

もみじユニット

10名の利用者の方が、和気あいあいと生活しています。休日は、お菓子作りや昼食に流しそうめん、お好み焼き等をして楽しいひと時を過ごしています。

さつきユニット

若い利用者の方が多く自立度が高いです。こだわりの強い方が多いため、出来るだけ自主性を尊重した生活出来る様工夫しています。

さざんかユニット

さつきユニットと異なり、利用者の方が高齢化しています。しかし、出来る事は自分で行っていただき、喜びや自信につながる生活を目指しています。



班活動

大風班日帰り旅行



大風班は、10/2に豪円山ロッジ及び大山まきばみるくの里へ日帰り旅行に行きました。近距離の大山ということもあり、バス移動時に不調になるご利用者も少なく穏やかに過ごせました。豪円山ロッジでジンギスカンを食べ、みるくの里ではアイスをみんながおいしそうに食べていました。今回の旅行では、食事だけでなく芝生



広場でのレクリエーションの場面を多く設けたことにより、サッカーなどの通常の活動では出来ないことを行え、新鮮味もあり、利用者の方達の笑顔が多く見られました。

すまいる班秋祭り

季節を感じることでできるミニ行事を開催することで単調な生活になりがちな施設での生活を活性化し、ご利用者が明るく、楽しく意欲的に生活を送っていただくことを目的としております。今回は秋のお祭り気分をあじわって頂くため、ボランティアの学生さんにも手伝ってもらい、9/27に秋祭りをすまいる班で実施しました。

活動室を使い、彼岸花やススキで飾りつけし、音楽が調子よく流れ祭りの雰囲気良く出ておりました。出店のような感覚を出すため、お菓子釣りコーナー、ボールすくいコーナー、かき氷コーナー、綿菓子コーナー、もぐら叩きコーナーとみんなが楽しめるよう職員が一生懸命準備しました。



大風班も参加し、更に生活介護事業所「えがお」も加わり、以前の馴染みの利用者と交流を行い、祭りは盛大なものとなりました。



えがお ふるさとホームコーナー

えがお 納涼祭

8月25日(土)「えがお」になって初めての全体行事として「えがお納涼祭」を行いました。過去やまと園で行っていた夏祭りより規模は小さくなりましたが、えがおの活動場所と駐車場を使用し、盆踊り、ダンス(USA)、カラオケ大会、各出店(ポップコーン、わたがし、かき氷、ジュース、スーパーボールすくい、ザリガニ釣り等)を行い、保護者や地域のボランティア、職員OBの応援もあり、一丸となって楽しい夏のひと時を過ごすことが出来ました。最後に全員で花火をし、夏の終わりを肌感じました。

これからもこの南部町のグループホームで地域の皆様と一緒に楽しめる行事を随時企画していきたいと思ひます。





医務からのお知らせ



朝夕冷え込む季節になりましたが、お元気にお過ごしでしょうか？

季節の変わり目で気温、気候の変化が朝と夕で大きくなる時期です。冬にかけていろいろな感染症が流行してきます。

インフルエンザもその一つです。インフルエンザは 1 年中発症する可能性があります。冬を迎える前はまだ予防意識が薄く、高熱が出て風邪を引いた程度に考えてしまい、感染を広げることがあります。

予防策としてインフルエンザワクチン接種をしますが、接種してから抗体ができるまでは 2 週間必要です。

次のような今からできる予防策もあります。

◆マスクを使用する

自分の身は自分で守る。

◆手洗いをする

ついてしまったものは流しとってしまう。

◆体温調節をする

季節の変わり目は体、自律神経もフル回転しているので免疫力が低下してしまっている。体温を一定に保つために衣類で調節する。

◆無理はしない

熱がある、食欲がない、疲れ気味、寝不足などあれば無理をしない。

ゆっくり休養を取る、水分を十分にとる。



気温の変化が激しいと温度差に体がついていけず、体調を崩しやすいです。季節や気候に合った対策でインフルエンザを予防し、楽しい秋から冬にかけて過ごしたいですね。

*ご来園の際は、玄関で手洗い・うがい・マスク着用のご協力をお願いします。また、体調の悪い方はご来園をお控えいただきますようお願いいたします。

ボランティア募集☆彡

皆生やまと園では演芸などのレクリエーションをしてくださるボランティアの方々を募集しております。ボランティアの皆様のご協力をよろしくお願いたします。お申込やご質問は下記の担当者までご連絡下さい。

TEL 0859-36-8155 担当：細田



○編集後記
紅葉シーズンも終盤となり、いよいよ冬が近づいてきました。体調を崩しやすい季節ですので、ご利用者、職員共に健康に気を配り、明るく元気に年を越したいですね。次号では十二月一日に予定しております、やまと園祭についてお伝えします。